

水が家を通ったら要注意！！

大雨や洪水で家に水が入ると、見た目は乾いていても床下や壁の中は湿ったまま。放置すると、家や健康に深刻な被害が広がります。まずは早めの確認と対応が大切です。

Check! 足元を確認してみ

【和室の場合】畳を上げて確認

- ①畳を外し、下の板（床板）をめくると床下が見える。
- ②水や土砂が残ってないか確認。
- ③床板や根太（ねだ）に白カビや湿った跡がないかを確認。
- ③木材が柔らかくなっていないか確認。

【洋室（フローリング）の場合】

・点検口を利用

キッチンや廊下の隅にある床下点検口を開ける。※和室と同様の確認。

・点検口がない場合は、業者に依頼し一部フローリングを外して確認。



自分での確認が難しい場合は…

無理に作業せず、お住まいの地域の「社会福祉協議会」へ相談しましょう。ボランティアや専門業者の紹介、必要な支援制度の案内を受けられる場合があります。

足元に潜む「白い悪魔」

白カビ 48時間で発生！
white mold

床下や壁の中が濡れたままだと、8月の暑さではあっという間に白カビが発生します。放置すると木材や畳に広がり、健康被害を引き起こす恐れがあります。

シロアリ 数週間で深刻化
termite

浸水後、床下や柱の木材が湿ったままだと、シロアリにとって理想的な環境になります。木材の中から食べ進むため、外からは被害が見えにくいのが特徴です。

Point! とにかく乾燥

① 土砂・ごみ・残った水を撤去

床下や柱、基礎に残った泥やごみは、カビや害虫の原因になります。スコップやブラシで取り除き。

② とにかく乾燥！

床下点検口や畳を外して風の通り道を作り、扇風機や送風機を設置します。目安は2週間ほど。



なぜ乾燥が大事？

湿った木材は、白カビやシロアリが繁殖しやすく、家の強度低下や健康被害の原因になります。乾燥はこれらを防ぐ最も効果的な対策です。

石灰 まかない！！
lime

石灰は湿気を吸って固まり、泥やごみと混ざって逆に乾燥を妨げることがあるからです。さらに、素手で触れると皮膚炎を起こす危険もあります。